

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川県立伊勢原射撃場		
所在地	伊勢原市上粕屋2, 380番地		
サイトURL	http://www.isehara-shooting.jp/		
根拠条例	神奈川県立伊勢原射撃場条例		
設置目的(設置時期)	県民に射撃に関する知識の習得及び技能の向上の場を提供し、もって県民のスポーツの振興に寄与するため(平成9年5月)		
指定管理者名	一般社団法人神奈川県射撃協会		
指定期間	平成25年1月1日～30年3月31日	施設所管課	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>射撃教室の開催や射撃教習及び技能講習の実施を通じて、概ね事業計画書の内容どおりの取組を実施している。利用状況の評価がA評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がB評価となったことから、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。利用状況の評価結果がA評価と利用者の満足度の評価結果がSであったことは、指定管理者のサービス向上の取組結果と評価する。今後は、事業計画に掲げた取組を継続するとともに、NTC競技別強化拠点施設(クレー射撃)の指定が継続されたことから、その強みを最大限活かした事業展開を図ることにより、引き続き、利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を通じて、更なる利用拡大とサービスの向上に努めてもらいたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 射撃教室の開催、射撃教習並びに技能講習及び自主事業である月例会の実施を通じて、概ね事業計画の内容どおりの取組を実施した。中でも施設の安全管理については、利用者に対する適切な指導やサポートを前年度に引き続き徹底することにより、利用者が安全、安心かつ快適に利用できる環境整備に注力するなど、事故のない施設運営に真摯に取り組んでいる。アンケート調査で、要望及び不満が多かった、トイレ設備、スキー射場の飛散防止壁の色、放出機の故障などを改善した結果、施設に対する要望及び不満が減ったことは評価できる。</p> <p>◆利用状況 団体利用者の予約をより早期に受け付ける等利用者サービスの向上に努めた結果、利用者数が目標達成率108.3%となり、A評価となった。また射撃教習受講者数は、前年度比32.11%のプラス、技能講習受講者数は、前年度比2.76%のプラスと良好であり、次年度もこの数値を維持できるよう取り組んでほしい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月及び3月に実施したアンケート調査の結果、上位2段階の回答割合が95.2%となり、S評価となった。回答率は昨年度に比べ若干下がったものの、回答数は約100件増加しており、積極的に利用者の意見を取り入れようとする姿勢は評価できる。</p> <p>◆収支状況 利用料金収入が前年度比12.49%のプラス、事業収入が前年度比2.36%のプラスと増加したが、利用者の要望のあった修繕や備品等の購入を積極的に行った結果、収支差額がマイナスとなったため、B評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 主に施設の老朽化による故障、破損に関する指定管理者に起因しない要望が寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、修繕を施すなど、適切な対応に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 前年度に、クレー放出機のメンテナンス作業中に負傷事故が発生したのを契機に、改めて全従業員に注意を喚起するとともに、クレー放出機の周辺での作業については、防護ヘルメット及び防護眼鏡の装着を義務づけ、作業着手前の報告を徹底した結果、今年度事故は発生しなかった。また、不祥事も発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。利用状況の評価結果がA評価と利用者の満足度の評価結果がSであったことは、指定管理者のサービス向上の取組結果と評価する。今後は、事業計画に掲げた取組を継続するとともに、NTC競技別強化拠点施設(クレー射撃)の指定が継続されたことから、その強みを最大限活かした事業展開を図ることにより、引き続き、利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を通じて、更なる利用拡大とサービスの向上に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	<p>S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成28年4月29日 平成28年10月25日 平成29年2月7日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
【施設の維持管理】 施設内の改修含む維持管理については、射撃場利用者の直接的サービス低下につながらないよう県と連携しながら優先して取り組む。	業務基準に基づき、施設機能の十分な発揮、利用者アンケートの指摘事項の改善、日常の保守管理・清掃等を実施した。	
【利用促進のための取組】 新たな射撃競技者の開拓、射撃競技者の育成、射撃競技に対する一般県民への普及啓発活動に取り組む。特に若年層の競技人口の拡大・育成に取り組む。	団体予約申込の時期を1か月早めるなどの工夫を行い、大会招致や団体利用が増加した。一般企業が旅行中の行事として、ビームライフルで課別対抗試合を実施し、120名が参加した。	マスメディアの取材に積極的に協力した結果、ビームライフルが誰でも利用できることが周知されてきたことが、一般企業の利用につながった。
【利用者の事故防止】 射撃場の責務として、単に射撃競技の場として利用させるだけではなく、利用者の射撃技能の向上、安全対策、安全意識の啓蒙に努める。	射撃指導員の資格を有する職員による巡回を実施したほか、利用者が多い日には県クレ射撃協会の協力を受けて射撃指導員を増員するなど、事故防止、安全確保に努めた。昨年度に引き続き、今年度も施設に起因する利用者の事故は0件であった。	
【地域と連携した魅力ある施設づくり】 防犯・防災・危機管理対応などの観点から地域の警察・消防・市町村・自治会などとの緊密な連携関係を構築する。地元雇用を積極的に推進する。競技会・合宿などの際の地域ボランティアの「おもてなし」活動に対する協力。	宿泊を伴う合宿・大会の際には、大山旅館組合とタイアップした宿泊パックを設定するなど、地域活性化の取組を実施した。 パート従業員の地元採用とともに、クレ射撃場の標的等の清掃作業に地元のシルバー人材に派遣依頼をしている。	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
ライフル射場S B ライフル月例会	競技人口が多い50m P60の競技会を参加料3,000円を徴収して実施している。地元の養鶏場の卵を参加料として提供するなど、参加者に楽しんでもらえるような工夫をしている。 平成28年度参加者 合計179名参加

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	20,408	19,906	21,654
対前年度比		97.5%	108.8%
目標値	20,000	20,000	20,000
目標達成率	102.0%	99.5%	108.3%

目標値の設定根拠： 指定管理者収支計画書に基づき設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用料金から算出

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年2回、9月と3月に調査)	協定に定めた年間2回 9月と翌年3月に実施した。設備の改善はライフル射場のトイレの洋式化とウォッシュレットの設置のみであったが、従業員日々の努力が利用者からの高評価という結果に出ていると思われる。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 _____ 該当する印象にチェックを付けてください（トータル的な満足度）。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 448 / 600 = 74.7%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	268	148		16	5	437	・クレーが見づらい。 ・AR射場に電子標的を設置してほしい。 ・射順、射団がわかりづらい。
回答率	61.3%	33.9%		3.7%	1.1%		
前年度の回答数	182	109	50	8	0	349	
前年度回答率	52.1%	31.2%	14.3%	2.3%			
回答率の対前年度比	117.6%	108.4%		159.7%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 _____ 該当する印象にチェックを付けてください（接客対応）。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 448 / 600 = 74.7%

配布(サンプル)対象 施設の利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	334	105		6	0	445	・接客が丁寧。 ・初めての利用だったが、色々教えてもらった。
回答率	75.1%	23.6%		1.3%			
前年度の回答数	237	58	50	5	0	350	
前年度回答率	67.7%	16.6%	14.3%	1.4%			
回答率の対前年度比	110.8%	142.4%		94.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

7. 収支状況

評価	<評価の目安> 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%~105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%~100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	0	54,992	24,403	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	79,395	79,395	0	100.00%
	決算	0	55,087	25,021	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	80,108	79,988	120	100.15%
前年度	当初予算	1,719	59,087	35,978	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	96,784	96,784	0	100.00%
	決算	1,719	51,525	43,282	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	96,526	88,966	7,560	108.50%
28年度	当初予算	0	67,063	37,978	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	105,041	105,041	0	100.00%
	決算	0	57,959	39,088	ナビジョン、標的等(77%)、技能講習・射撃教育	97,047	104,061	-7,014	93.26%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

28年度 / 4,408 前年度 / 4,408 前々年度 / 4,408

※提案時のみ

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所當繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：協定書上県による負担はない 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	対面	1 件	ライフルSB射場 冬季持ち込み暖房器具を使用すると、電力オーバーになり、電子標的が使用不可になることが多い。	各26射座に電気コンセントを追加取付
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
なし	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。